

令和6年度大阪府立吹田東高等学校

第2回学校運営協議会

日 時：令和6年12月9日（月）

場 所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・委員	吉川 正晃	吹田市立千里丘中学校 校長	
	和田 大志郎	吹田東高等学校 後援会会長	
	春貴 勇力	吹田東高等学校 PTA会長	
	佐伯 勇	甲南女子大学 教授	
	城下 英行	関西大学 准教授	
	飯田 亮真	アレグロ法律事務所 弁護士	
	校 長	東 知佐子	吹田東高等学校
	事務局	山室 裕	吹田東高等学校 教頭
		神谷 朋子	吹田東高等学校 事務長
		村上 明弘	吹田東高等学校 首席
丸山 勉		吹田東高等学校 指導教諭	
佐々 紀子		吹田東高等学校 教諭	
	上手 萌花	吹田東高等学校 教諭	

## ◆学校長挨拶

## ◆議 事

### 【報告事項】

#### (1) 生徒による授業アンケート結果について（東校長）【資料①1－4参照】

##### ○資料説明

- ・質問項目は9個で内容は教育委員会より指示がある。
- ・例年は第1回アンケートの方がやや数値が高い傾向にある。
- ・平均値では今年度はやや上がっている。

##### ○実施時期、方法の説明

##### ○結果分析の説明

##### <学校平均>

- ・令和2年度に向上し、その後横ばいから令和6年度はさらに上がった。
- ・高評価は、ICT活用や多面的な評価等が結果に繋がっているように見受けられる。
- ・令和6年度も学校目標である全体平均3.3以上、興味・関心、知識・技能の平均3.2以上を達成した。

##### <教員ごとの差の分析について>

- ・教員間の結果の差が開く傾向が出てきているため、いくつかの観点で組織別の教員間比較を行った。
- ・教諭、常勤講師平均と非常勤講師平均の比較を行った。
- ・担任平均と非担任平均の比較を行った。
- ・教員の年代別平均値の比較を行った。

##### <教科ごとの数値>

##### ○今後の予定

- ・中間考査後より、公開授業週間を実施し、各教員が他の授業を見学し、「授業見学シート」を提出。教科を越え相互に見学・評価をし、授業改善の意識を高める。
- ・LGH（リーディングギガハイスクール）として8名の教員の外部への公開授業を実施。校内のみで2回の研究討議を実施。
- ・管理職は、授業見学後、面談等で各教員に指導・助言を行う。
- ・第2回アンケートは12月24日に実施し、第1回と比較する。

- Q 委員 担任・非担任の比較についての傾向は。  
 A 学年団として、生徒との関わりが強くなれば数値が上がる傾向にある。  
 Q 委員 教科別の数値の傾向はどのようなことが影響しているのか。  
 A ICT活用のやりやすさも影響しているのでは。  
 Q 委員 これらの分析結果を校内で議論したり、授業改善に役立てたりするのか。  
 A 授業を見学し合い、授業改善に役立っている教員もいるので、そのような取り組みが全体に広がればいいと思う。  
 委員 各教科の経年変化を教科別で分析検討し、授業改善に活かされてはどうか。

(2) 令和6年度学校経営計画の進捗状況について（東校長）【資料②参照】

- 本年度の取組内容及び自己評価について  
 ・各中期的目標における自己評価の進捗状況（資料②）の説明

(3) DXハイスクール校の活動について（東校長）【資料③1-3参照】

- ①有志生徒向けの研修（東校長）【資料③-1参照】  
 ・プログラミング・アプリ作成講習を実施  
 ・受講生アンケートは全員肯定的回答  
 ②総合的な探究の時間（東校長）【資料③-2参照】  
 ・49期生3年生「総合的な探究の時間」生徒アンケート結果  
 ・どの項目も肯定的回答が多数を占めている。  
 ③直島研修（丸山指導教諭）【資料③-3参照】  
 ・現代アートの対話型鑑賞  
 ・希望生徒34名、教員8名参加。  
 ・ベネッセによる参加生徒の事前事後のアンケートでは数値がかなり上がった。

事務局 対話型鑑賞は企業の研修でも取り入れられている。

委員 PTA研修でも取り入れたい。

(4) 広報活動について（村上首席）【資料④】

- 吹田東高校公式Instagramを開設。  
 ・在校生、保護者、中学生向けに配信。  
 ○オープンスクール・学校説明会状況報告  
 ・来校者アンケートでは多くの肯定的回答が得られた。

委員 中学生も高校の情報をインスタで見ている生徒は多数いると思う。

肖像権等の配慮も苦労があると思う。

(5) 府立高校の魅力化に向けたアンケート調査結果（山室教頭）【資料⑤】

- ・本校は昨年より実施。  
 ・「入学前後の学校に対する印象」では、「概ねイメージ通り」の回答が47.2%であり、全普通科高校の回答値40.9%よりも6ポイント以上高い。広報活動が他校よりも充実していることが伺える。  
 ・志望校決定理由の「中学校の先生のすすめ」が「とてもあてはまる」と「あてはまる」の値の和は33.5%であり、全普通科高校の回答値40.7%よりも7ポイント以上低い。中学校の先生へのアピールが足りていない可能性がある。

委員 ほとんどの公立高校で、中学校訪問は最近行われていない。

#### ◆諸連絡

次回（第3回）の日程で1月下旬か2月上旬で調整する。